

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2007-34399(P2007-34399A)
 【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報2007-005
 【出願番号】特願2005-212837(P2005-212837)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 2 0 0 C

G 0 6 F 12/00 5 2 0 E

G 0 6 F 17/30 2 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理システムであって、

文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付け、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録することを特徴とする文書管理システム。

【請求項 2】

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理システムであって、

ヘッダ情報の項目と文書プロパティの項目との対応付け設定を複数保持し、文書登録の際に、保持している複数の対応付け情報リストの中から、文書に適用させる対応付け設定が選択され、選択された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録することを特徴とする文書管理システム。

【請求項 3】

既に登録されている文書に対して、対応付けの再適用を行うことにより、プロパティ値を変更することを特徴とする請求項 2 記載の文書管理システム。

【請求項 4】

コンピュータに、

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る機能と、

文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付け、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プ

ロパティの値として設定し、文書を新規登録する機能と、
を実現させることを特徴とするプログラム。

【請求項 5】

コンピュータに、

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る機能と、

ヘッダ情報の項目と文書プロパティの項目との対応付け設定を複数保持し、文書登録の際に、保持している複数の対応付け情報リストの中から、文書に適用させる対応付け設定が選択され、選択された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録する機能と、

を実現させることを特徴とするプログラム。

【請求項 6】

既に登録されている文書に対して、対応付けの再適用を行うことにより、プロパティ値を変更する機能を実現させることを特徴とする請求項 5 記載のプログラム。

【請求項 7】

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理方法であって、

文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付けるステップと、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録するステップとを有することを特徴とする文書管理方法。

【請求項 8】

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理方法であって、

ヘッダ情報の項目と文書プロパティの項目との対応付け設定を複数保持し、文書登録の際に、保持している複数の対応付け情報リストの中から、文書に適用させる対応付け設定が選択されるステップと、選択された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録するステップとを有することを特徴とする文書管理方法。

【請求項 9】

既に登録されている文書に対して、対応付けの再適用を行うことにより、プロパティ値を変更するステップを有することを特徴とする請求項 8 記載の文書管理方法。

【請求項 10】

コンピュータに、

登録する 1 つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る機能と、

文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付け、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録する機能と、

を実現させることを特徴とするプログラムを記録した記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】文書管理システム、プログラム、文書管理方法および記録媒体

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、ファイルのヘッダ情報の項目と文書プロパティの項目との間の対応関係をユーザーが設定するだけで、プロパティの値への設定はシステムが自動的に行う文書管理システム、プログラムおよび文書管理方法等に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項6記載の発明は、請求項5記載のプログラムにおいて、既に登録されている文書に対して、対応付けの再適用を行うことにより、プロパティ値を変更する機能を実現させることを特徴とする。

請求項7記載の発明は、登録する1つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理方法であって、文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付けるステップと、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録するステップとを有することを特徴とする文書管理方法である。

請求項8記載の発明は、登録する1つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る文書管理方法であって、ヘッダ情報の項目と文書プロパティの項目との対応付け設定を複数保持し、文書登録の際に、保持している複数の対応付け情報リストの中から、文書に適用させる対応付け設定が選択されるステップと、選択された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録するステップとを有することを特徴とする文書管理方法である。

請求項9記載の発明は、請求項8記載の文書管理方法において、既に登録されている文書に対して、対応付けの再適用を行うことにより、プロパティ値を変更するステップを有することを特徴とする。

請求項10記載の発明は、コンピュータに、登録する1つの文書に対して、複数のプロパティ項目を設定し、新規登録を行っている最中の文書や、既に登録されている文書に対して、元ファイル内に埋め込まれたヘッダ情報を読み取る機能と、文書の新規登録の際に、ヘッダ情報の項目とシステムに定義されている文書プロパティの項目との対応付けの指定を受け付け、指定された対応付けの通りにヘッダ情報を文書プロパティの値として設定し、文書を新規登録する機能と、を実現させることを特徴とするプログラムを記録した記録媒体である。